

みる つくる
かたる

2008

VOL.35
(通巻97号)

ART NEWS 千葉県立美術館報

企画展「藤田喬平展」

ガラスの光彩—伝統と創造—

平成21年1月17日(土)～2月22日(日)

休館日 毎週月曜日
開館時間 9:00～16:30
入場料 一般500円(400円)
高大生250円(200円)
中学生以下・65歳以上は無料
()内は20名以上の団体料金
※詳しくはお問い合わせください



「飾箱・源氏物語」1995年作 本館蔵

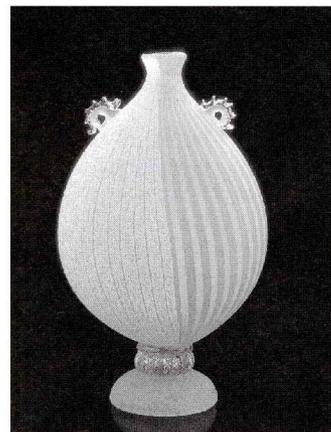
藤田喬平(1921～2004)は、東京に生まれ、東京美術学校では彫金を学びましたが、卒業後は硝子会社に入社しました。その後退社して個人のガラス工芸家として独立し、自ら厳しい制作環境に身を置きながら本格的な創作活動を始めました。

それから20年後の1973年、藤田は初めての飾箱作品である「菖蒲」を発表し、これが彼の記念碑的作品となりました。藤田は、飾箱の制作にあたって、本阿弥光悦や俵屋宗達に始まり、尾形光琳によって開花した琳派の表現を強く意識したと言っています。

飾箱のかたちや地色、箔、色ガラス粒の組み合わせや

対比によって生まれるイメージはあくまでも静的で、いずれの作品にも日本の古典文学や地名、日本ならではの自然や植物に因んだ題名がつけられています。この「飾箱 源氏物語」も飾箱シリーズの中の代表作のひとつといえるでしょう。

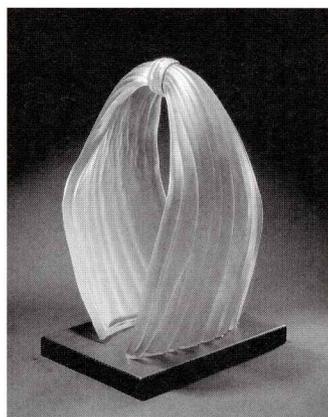
1975年、デンマークで開催された「国際スタジオグラス展」に招待された藤田は、これまで制作した飾箱作品を海外で初めて展示しました。この時、一般の人々はもちろんガラス作家や記者からも飾箱は絶賛され、藤田は高い評価を受けました。また77年からはイタリアのヴェニス・ムラーノ島でヴェネチアガラスの伝統技法を学びました。そしてこの地での制作が転機となって、藤田の後半生の活動と作品は新たな展開を見せていきました。



「ヴェニス花瓶」2002年作

藤田は、1955年から本県市川市に住みました。この頃から公募展とは一線を画し、個展やグループ展、海外展を主舞台として活動しました。こうした藤田の創作活動は、若手ガラス作家の大きな指針となり、わが国のガラス工芸の発展にも大きく貢献したといえます。そして永年の功績から89年に日本芸術院会員となり、2002年には文化勲章を受章しました。

本展覧会は、初期から晩年まで、およそ半世紀にわたる藤田喬平の活動を約100点の作品によって紹介いたし



「風」1984年作
関彰商事株式会社蔵

ます。展示作品は、1950年代の初期作品をはじめ、ガラスの特性を如何なく表現した流動作品、色彩豊かな飾箱やオブジェ、繊細な紋様のヴェネチア花瓶、茶道具などです。

どうぞ藤田喬平の華麗なガラスの世界をお楽しみください。

(学芸課 金田雅成)

企画展「藤田喬平展」 ガラスの光彩 —伝統と創造— 関連事業

藤田喬平の芸術を多方面から理解していただくため、講演会、ワークショップ、コンサートなど多彩な催しを用意しました。作品を「みる」だけでなく、解説や音楽を聴いたり、作品を作ることにより、より深い理解が得られる機会です。申込が必要なものもありますので、お早めにお申し込みください。

美術講演会

「藤田喬平の魅力—その本質を探る」

講師 武田 厚氏 (美術評論家)

日時 平成21年1月31日(土) 14:00~15:30

場所 千葉県立美術館 講堂

※参加費無料 定員200名 当日先着順。

ギャラリートーク

講師 藤田 潤氏 (ガラス工芸家)

日時 平成21年1月17日(土) 14:00~

平成21年2月7日(土) 12:30~

※参加費無料です。(ただし、入場料が必要です)ご希望の方は、開始時間に展示室にお集まりください。

企画展関連ワークショップ

ガラス作家の藤田喬平作品の展示を鑑賞後、ガラスを使った作品作りに挑戦してみましょう。こども対象のワークショップに加え、今回は特別に大人(18歳以上)対象のワークショップも計画しています。きらめくガラスの魅力あふれる逸品を、是非ご自分の手で作り出されてはいかがでしょうか。下記の要領で実施します。いずれも事前のお申し込みが必要です。

企画展スペシャル「ガラスで・あーと」

既製ガラスを加工して、インテリアに活用できるオリジナル作品を作ります。

日時 平成21年2月3日(火) 13:00~

場所 千葉県立美術館

対象 18才以上 50名

参加費 1,500円(企画展「藤田喬平展」の入場料を含む)

所要時間 2時間30分を予定

申込締切 平成21年1月22日(木) 必着

企画展スペシャル「きらめきあーと」

ガラスですてきな模様を作ります。飾って楽しみましょう。

日時 平成21年2月21日(土) 13:00~

場所 千葉県立美術館

対象 小中学生 50名

参加費 1,000円

所要時間 2時間30分を予定

申込締切 平成21年2月12日(木) 必着

※申込方法

往復はがき(返信用はがきにはご自分の宛先をご記入ください)に、参加希望ワークショップ名、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を明記し、〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 千葉県立美術館 普及課あてにお申し込みください。応募者多数の場合は、抽選となります。

ミュージアムコンサート

歌とピアノ三重奏による「イタリア・ヴェネツィアと日本の名曲集」

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による、ミュージアムコンサートを開催します。イタリア・ヴェネツィアでヴェネツィアガラスの伝統技法を学んだ藤田喬平にちなみ、第1部は「イタリア・ヴェネツィアの音楽」と題して、ヴェネツィア民謡「海に来たれ」や、イタリアの作曲家クルティスの「帰れソレントへ」等の曲をお送ります。第2部は「春の海」、「村祭」など、おなじみの「日本の名曲」でお楽しみください。

日時 平成21年2月7日(土) 14:00~15:30

場所 千葉県立美術館 講堂

定員 200名

参加費 無料

申込締切 平成21年1月28日(水) 必着

※申込方法

往復はがきに「ミュージアムコンサート希望」と書き、氏名(複数名の申し込み可)・住所・電話番号を明記の上、〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 千葉県立美術館コンサート係までお申し込みください。定員を超えた場合は抽選となります。



11～3月に開催される「アート・コレクション展」

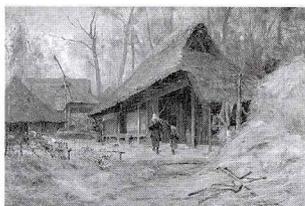
アート・コレクション展では、ほぼ年間を通して展示する「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」とともに、コーナー展示とテーマ展示を行います。11月以降のコーナー展示では「椿貞雄」「横尾芳月」「コレクション50」など各テーマに沿った小さな展覧会によって収蔵品を紹介しします。また、今年度は12月16日から新春1月11日まで、関東地区博物館協会合同企画事業「新春 七福館干支めぐり」の一環として「県立美術館 干支コレクション」を同じくコーナー展示で開催しします。また、テーマ展示では、「こどものための展覧会-海の風景-」「金工の世界」「木と漆」「書的美」など、材質やジャンルなど多岐に渡った作品を紹介しします。

アート・コレクション「通年展示」 第2展示室

「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」

11月22日(土)～平成21年3月31日(火)

浅井忠を中心に、工部美術学校のイタリア人画学教師だったフォンタネージの作品や、ミレー、コロ、ディアズなどのバルビゾン派、さらにフォンタネージとバルビゾン派を結びつけたラヴィエの作品を紹介しします。



浅井 忠《蕈屋根》

アート・コレクション「コーナー展示」 第1展示室

「椿 貞雄」

11月22日(土)～12月14日(日)

椿貞雄は山形県に生まれ、画家を志して上京し、岸田劉生に師事しします。後に船橋市に移住。洋画による東洋の美を追求し、写実的な作風を確立ししました。



椿 貞雄《自画像》

「横尾芳月」

11月22日(土)～12月14日(日)

日本画家の横尾芳月は福岡県に生まれ、画家を志して上京し、池田輝方・伊東深水に入門ししました。後に千葉市に移住し、多くの美人画を描きました。

アート・セレクション「コレクション50」より

平成21年2月28日(土)～4月12日(日)

県立美術館収蔵作品50選の中から、洋画・日本画・工芸の作品を展示しします。

(ただし、日本画・工芸は4月5日まで)



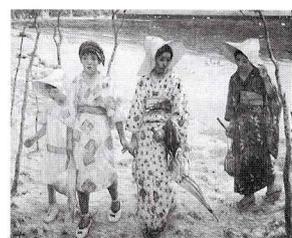
東山魁夷《春雪》

アート・コレクション「テーマ展示」 第3展示室

「こどものための展覧会-海の風景-」

11月22日(土)～平成21年1月11日(日)

油彩・水彩で描かれたさまざまな海の表情をご覧ください。あわせて房総の海の絵葉書や小説につづられた房総の海を紹介しします。

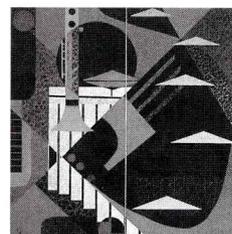


大久保作次郎《海水浴帰り》

「木と漆」

平成21年2月28日(土)～4月26日(日)

木の素材の美しさを表現した木象嵌・刳物・木彫作品や、木を漆で仕上げた漆盛器・装飾品・額飾りなどを紹介しします。木と漆のもつ素材と技の美をご覧ください。



三村比呂志《想曲》

アート・コレクション「テーマ展示」 第8展示室

「金工の世界」

11月22日(土)～平成21年1月11日(日)

千葉県ゆかりの香取秀真、津田信夫をはじめ、金工史上で活躍した作家たちの作品を紹介しします。

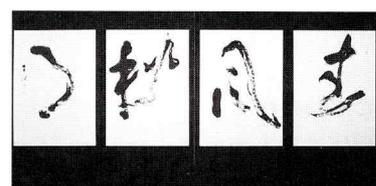


香取秀真《鳩香炉》

「書的美」

平成21年3月20日(金)～5月6日(水)

本館収蔵品のなかより、戦後千葉県書壇で活躍した書家たちの作品を紹介しします。



高澤南総《春風秋月》

美術館からのお知らせ

これから行われるワークショップ・実技講座のご案内

美術館の創作体験の総称となっているワークショップ。今年もすでに美術館の内外で4回行いました。

◆第5回ワークショップ「その場で・あーと」

小さい子どもから一般の方まで、どなたでもできるワークショップを開催します。その名も「その場で・あーと」。《どこでもドア》ならぬ、《どこでもあーと》を新たに計画いたしました。美術館の“その場”があーとを生み出す空間に。今年度は、「県民の日・エンジョイあーと」ですっきりおなじみ、ご好評のカンバッジを作ります。

日時 12月6日(土) 10:00~15:00 定員 200名
参加費 100円

※申込は必要ありません。「その場」でお申し込みください

第6回ワークショップ「針金で・あーと」

アート・コレクション「金工の世界」の展示を鑑賞後、針金を使った造形作品を作ります。針金をくるっと曲げたりぐるぐる巻いたり、できたみんなの作品を美術館に展示します。つるして飾れる“針金あーと”が集合です。

日時 1月10日(土) 13:00~
参加対象 小学生 50名(保護者の方の同伴が必要)

参加費 1,000円 申込締切日 12月25日(木) 必着
※参加希望の方は、往復はがきに希望ワークショップ名・住所・氏名・電話番号・学校・学年を明記の上、〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 千葉県立美術館 普及課までお申し込みください。締め切り日必着です。

希望者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

実技講座

●金工講座

銅板レリーフの作品製作を通して、金属工芸の具体的な技法を身につけます。

〈日程〉1月20日(火)~23日(金)、27日(火)、28日(水)、30日(金)、2月4日(水)~6日(金) 12:30~16:00

〈定員〉15名 〈講師〉小林正利氏

〈費用〉14,000円 〈申込締切〉12月25日(木) 必着

●篆刻講座

篆刻の基本的な技法や用具の取り扱い方を習得します。

〈日程〉2月10日(火)、13日(金)、17日(火)、20日(金)、24日(火)、27日(金) 12:30~16:00

〈定員〉20名 〈講師〉那須大卿氏
〈費用〉10,000円 〈申込締切〉1月27日(火) 必着
※実技講座に参加希望の方は、往復はがきに希望講座名・住所・氏名・電話番号を明記の上、〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 千葉県立美術館 普及課までお申し込みください。希望者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

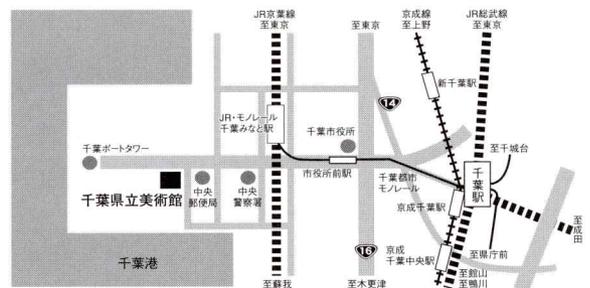
——「博物館実習」が終了しました——

今年度も大学の夏休み期間を利用した、学芸員資格を取得するための博物館実習を、8月5日(火)~11日(月)までの6日間実施しました。参加学生は、11大学13名と例年より数名多くしかも全員女子大生。ここ数年来、かろうじて1年に1人参加があった男子学生の姿が、今年は皆無でした。学生は大学で学んだことを精一杯生かしながら、現場での数日間のカリキュラムに臨んでいました。今までの知識に新しい経験を加え、おぼろげながら描いていた学芸員像を各々が塗り替えていたようです。終了時には、博物館・美術館の現状を知る良い機会であったという感想を持ち、実務実習で得た経験を今後の生活に生かそうという決意が各自にみなぎっていました。

利用案内

開館時間 午前9時~午後4時30分
常設展 一般 300円 高校・大学生 150円
企画展「藤田喬平展」 一般 500円 高校・大学生 250円
中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方(介護者含む)は無料です。お得な「パスポート」もごさいます。詳しくは、お問い合わせください。

交通



JR京葉線・千葉都市モノレール「千葉みなと駅」下車徒歩10分
〈東京方面から〉東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分
〈成田方面から〉東関東自動車道「千葉北」I.Cから約25分

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1
電話 043-242-8311

<http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

千葉県立美術館報「みるかたるつくる」VOL35(通巻97号)
2008年11月15日発行